

君侯の本又塙本中も亦とまれづこぐひもたかく此方より
四ノ句二本ともよみえきや又こゑぬをとりていづれもつゝと
る此方よくせゆれば是よあこがひぬ二ノ句の梯中も渡るや
あるあゝぞハ不叶此方うれしきあなまき歌也

うへにこれあゝのあはれハ秋のあはれや鷹の浄土あゝむ
古種ハ浄土無義猶可尋とのこゝろをいふ此歌のあゝを世
中に善悪ても事強くいふあゝをもちこゝろ鷹を秋に
あゝよゝれば其秋のあゝを移く諸鳥をとらま食ひし
殺生をさる秋ハあゝのあゝをさるハあゝ云々ぬゝさるその秋ハ
あゝ比るにそれぬハ秋のあゝをさる鷹ハ秋ハ殺生しゝく是を